

パワーコンディショナを再起動する

エラーなどでパワーコンディショナの再起動が必要なときは、以下の操作で再起動してください。ただし、太陽電池パワーコンディショナの再起動は太陽光発電中（日中）のみ可能です。



1 右側面の 運転切替ボタン を押す

※運転切替ボタンがロックされている場合は、ロックを解除してから操作してください（☞ 15 ページ）。

※運転モードの自動切り替えをおこなっている間は、設定画面を表示できません（☞ 52 ページ）。切り替えが終了するまで、しばらくお待ちください。



2 解除 をタップする

「点検」と表示されているパワーコンディショナの「解除」をタップしてください。

パワーコンディショナが「手動停止中」になるので、「運転」をタップしてください。パワーコンディショナが再起動します。

停電したときは

電力会社の停電などによって外部からの電力供給がなくなると、パワーコンディショナの運転は停止し、ディスプレイにエラーメッセージを表示します（太陽光発電システムのみ設置している場合は、夜間を除く）。停電が回復後、しばらくすると自動的にパワーコンディショナの運転を開始します。



停電が発生したことをディスプレイに表示します。停電中は運転状態表示ランプが緑色点滅または消灯します。

マルチエネルギーモニタ画面の「停電時には」をタップすると停電時の操作方法が表示されます。

※パワーコンディショナを自立運転に切り替えると、自立運転用コンセントまたは専用コンセント／専用配線に電力が供給されます。

■ 停電時に太陽光発電または蓄電池の電力を使用することができません（自立運転）（☞ 67～70 ページ）

停電中に自立運転に切り替えると、太陽光発電で発電した電力や蓄電池の電力を使用することができません。自立運転の自動切り替えを設定している場合は、切り替え操作不要です（☞ 52 ページ）。

！ ご注意

◆ 自立運転の注意事項（☞ 67～69 ページ）をよくお読みになってご使用ください。

停電時に電気を使うには（自立運転）

■ 太陽光発電システム、蓄電池システムを両方お使いの場合

自立運転では、太陽光発電で発電した電気や蓄電池に貯めた電気を専用コンセント／専用配線に供給します。余った電気を電力会社に売ることはできません。

自立運転をおこなうときは、以下の注意をよくお読みになり、正しくお使いください。

自立運転のご注意

- 自立運転は、停電時の非常用電源としてお使いいただくための機能です。停電が回復したときは、運転モードを連系運転に切り替えてください（☞ 70 ページ）。
自立運転の自動切り替えを設定しているときは、切り替え操作不要です（☞ 52 ページ）。
- 太陽電池モジュールが発電していないときは蓄電池より電力を供給します。
夜間など発電できないときも蓄電池残量があれば、自立運転できます。
- 専用コンセント／専用配線を使用してください。
自立運転では、専用コンセント／専用配線のみで電力が供給されます。停電時にその他のコンセント／配線は使用できません。
- パワーコンディショナの運転音が大きくなる場合があります。
自立運転中は、パワーコンディショナの運転音が連系運転中より大きくなる場合がありますが、異常ではありません。
- 最大でパワーコンディショナの定格出力（※）までの電気機器が使用できます。
消費電力がパワーコンディショナの定格出力（※）までの電気機器をご使用ください。モータで作動する機器（掃除機、冷蔵庫、エアコン、洗濯機など）や運転開始時に大きな電流が流れる機器、アースを必要とする電気機器、特定の電流波形を有する機器（一部のドライヤーなど）は使用できない場合があります。
- 使用している機器が途中で使えなくなる場合があります。
天候の変化などで発電電力が不安定になることがあります。また、蓄電池残量・周囲温度等の条件により保護機能が働き、放電電力が抑制されることがあります。蓄電池連携型パワーコンディショナ利用時は、発電電力が小さいときパワーコンディショナの定格出力まで出力されない場合があります。発電電力が低下し蓄電池残量がない場合や保護機能が働いた場合、家電製品のご使用状況によっては、自動的に自立運転を停止することがあります。デスクトップパソコン等の情報機器および周辺機器、電子レンジ等の調理器具などは、途中で電源が切れると、データの損傷や食品損傷および故障の原因となる可能性があります。
- 自立運転時の発電量と専用コンセント／専用配線からの消費量は積算されません。
自立運転時に太陽光発電した電力量と専用コンセント／専用配線で消費した電力量は履歴表示には反映されません。

※機種によって異なります。詳しくは取扱説明書 追補版（仕様）のパワーコンディショナの定格出力 自立運転 時欄をご確認ください。

⚠ 警告

専用コンセント／専用配線に以下の製品をつながないでください。

- 人命に直接かかわる医療機器および人身の損傷に至る可能性のある装置
- 灯油やガスを用いた暖房機器

自立運転時の発電電力は天候により変動します。発電電力が専用コンセント／専用配線につないだ電気機器の消費電力より小さい時は蓄電池から電力を補いますが、蓄電池残量がなくなると、電力供給を停止します。途中で電源が切れると、生命や財産に損害を受けるおそれがある機器はご使用にならないでください。また、自動で給電された場合に不安定になる可能性がある機器を接続しないでください（自立運転の自動切り替えを設定している場合）。



メモ

- 専用コンセント／専用配線の設置場所はお買いあげの販売店・工事店にご確認ください。
- 専用コンセント／専用配線には平常時は電力会社からの電力が供給されます。停電時には自立運転により電力が供給されます。

もくじ

はじめに

各部の名前とはたらき

システムを使う

発電実績

設定する

ネットワーク設定をする

このようなときは

索引

蓄電池システムのみをお使いの場合

自立運転では、蓄電池に蓄えた電力を専用コンセント／専用配線に供給します。
自立運転をおこなうときは、以下の注意をよくお読みになり、正しくお使いください。

自立運転のご注意

- **自立運転は、停電時の非常用電源としてお使いいただくための機能です。停電が回復したときは、運転モードを連系運転に切り替えてください（P.70 ページ）。**
自立運転の自動切り替えを設定しているときは、切り替え操作不要です（P.52 ページ）。
- **専用コンセント／専用配線を使用してください。**
自立運転では、専用コンセント／専用配線のみで電力が供給されます。停電時にその他のコンセント／配線は使用できません。
- **パワーコンディショナの運転音が大きくなる場合があります。**
自立運転中は、パワーコンディショナの運転音が連系運転中より大きくなる場合がありますが、異常ではありません。
- **パワーコンディショナの定格出力（※）までの電気機器が使用できます。**
消費電力がパワーコンディショナの定格出力（※）までの電気機器をご使用ください。
モーターで作動する機器（掃除機、冷蔵庫、エアコン、洗濯機など）や運転開始時に大きな電流が流れる機器、アースを必要とする電気機器、特定の電流波形を有する機器（一部のドライヤーなど）は使用できない場合があります。
- **使用している機器が途中で使えなくなる場合があります。**
蓄電池より電力が供給されますが、蓄電池残量がなくなると、電力供給を停止します。蓄電池残量・周囲温度等の条件により保護機能が働き放電電力が抑制されることがあります。家電製品のご使用状況によっては、自動的に自立運転を停止することがあります。
デスクトップパソコン等の情報機器および周辺機器、電子レンジ等の調理器具などは、途中で電源が切れると、データの損傷や食品損傷および故障の原因となる可能性があります。
- **自立運転時の発電量と専用コンセント／専用配線からの消費量は積算されません。**
自立運転時に専用コンセント／専用配線で消費した電力量は履歴表示には反映されません。

※機種によって異なります。詳しくは取扱説明書 追補版（仕様）のパワーコンディショナの定格出力 自立運転 時欄をご確認ください。

警告

専用コンセント／専用配線に以下の製品をつながないでください。

- 人命に直接かかわる医療機器および人身の損傷に至る可能性のある装置
 - 灯油やガスを用いた暖房機器
- 自立運転時には、蓄電池より電力を供給しますが、蓄電池残量がなくなると、電力供給を停止します。途中で電源が切れると、生命や財産に損害を受けるおそれがある機器はご使用にならないでください。また、自動で給電された場合に不安定になる可能性がある機器を接続しないでください（自立運転の自動切り替えを設定している場合）。



メモ

- 専用コンセント／専用配線の設置場所はお買いあげの販売店・工事店にご確認ください。
- 専用コンセント／専用配線には平常時は電力会社からの電力が供給されます。停電時には自立運転により電力が供給されます。

■ 太陽光発電システムのみをお使いの場合

自立運転では、太陽光発電で発電した電気を自立運転用コンセントまたは専用コンセント／専用配線に供給します。余った電気を電力会社に売ることはできません。自立運転では、発電した電力が自立運転用コンセントまたは専用コンセント／専用配線に接続されている機器の消費電力より大きな場合のみ運転することができます。自立運転をおこなうときは、以下の注意をよくお読みになり、正しくお使いください。

自立運転のご注意

- **自立運転は、停電時の非常用電源としてお使いいただくための機能です。停電が回復したときは、運転モードを連系運転に切り替えてください（☞ 70 ページ）。**
- **太陽電池モジュールが発電していないときは使用できません。**
夜間など発電できないときは、自立運転できません。
- **自立運転用コンセントまたは専用コンセント／専用配線を使用してください。**
自立運転では、自立運転用コンセントまたは専用コンセント／専用配線のみが発電電力が供給されます。停電時にその他のコンセント／配線は使用できません。
- **パワーコンディショナの運転音が大きくなる場合があります。**
自立運転中は、パワーコンディショナの運転音が連系運転中より大きくなる場合がありますが、異常ではありません。
- **発電電力より消費電力が小さな機器を使用してください。**
太陽光発電で発電した電力よりも自立運転用コンセントまたは専用コンセント／専用配線に接続した機器の消費電力が大きな場合、自立運転できません。
自立運転用コンセントまたは専用コンセント／専用配線で利用できる電力は最大でパワーコンディショナの定格出力（※）までです。消費電力がパワーコンディショナの定格出力（※）までの電気機器をご使用ください。モータで作動する機器（掃除機、冷蔵庫、エアコン、洗濯機など）や運転開始時に大きな電流が流れる機器、アースを必要とする電気機器、特定の電流波形を有する機器（一部のドライヤーなど）は使用できない場合があります。
- **使用している機器が途中で使えなくなる場合があります。**
太陽光発電で発電した電力のみを使用するため天候の変化などで発電電力が不安定になることがあります。発電電力が低下した場合、自動的に自立運転を停止します。家電製品のご使用状況によっては、自動的に自立運転を停止することがあります。
デスクトップパソコン等の情報機器および周辺機器、電子レンジ等の調理器具などは、途中で電源が切れると、データの損傷や食品損傷および故障の原因となる可能性があります。
- **自立運転が自動停止した翌日は、手動で自立運転を開始してください（☞ 70 ページ）。**
自立運転していると、日の入りとともに自動的に運転を停止しますが、翌朝に日の出を迎えても自動的に運転を開始しません。自立運転を行う場合は、手動で自立運転を開始してください。
- **自立運転時の発電量と自立運転用コンセントまたは専用コンセント／専用配線からの消費量は積算されません。**
自立運転時に太陽光発電した電力量と自立運転用コンセントまたは専用コンセント／専用配線で消費した電力量は履歴表示には反映されません。

※機種によって異なります。詳しくは取扱説明書 追補版（仕様）のお使いのパワーコンディショナの定格出力 自立運転時欄をご確認ください。

⚠ 警告

自立運転用コンセントまたは専用コンセント／専用配線に以下の製品をつながないでください。

- 人命に直接かわる医療機器および人身の損傷に至る可能性のある装置
- 灯油やガスを用いた暖房機器

自立運転時の発電電力は天候により変動します。発電電力が自立運転用コンセントまたは専用コンセント／専用配線につないだ電気機器の消費電力より小さい時は、運転を停止します。途中で電源が切れると、生命や財産に損害を受けるおそれがある機器はご使用にならないでください。



メモ

- 自立運転用コンセントまたは専用コンセント／専用配線の設置場所はお買いあげの販売店・工事店にご確認ください。
- 自立運転用コンセントまたは専用コンセント／専用配線を設置するときは、お買いあげの販売店にご相談ください。
- 自立運転用コンセントは平常時は電力が供給されません。専用コンセント／専用配線の平常時の使用については、お買いあげの販売店・工事店にご確認ください。（蓄電池を接続していない蓄電池連携型パワーコンディショナを設置している場合、専用コンセント／専用配線を連系運転中に使用すると、機器構成によってはエラーにより運転が停止する可能性があります。）

■ 自立運転に切り替える

以下の操作で自立運転を行うことができます。

- 停電時に自立運転に切り替えると、太陽光発電または蓄電池の電力を使用することができます。
- 接続されている機器の消費電力が、自立運転で使用できる電力より大きい場合、エラー画面（E-32 等）が表示されることがあります。その場合は接続された機器を減らしてください。（☞ 83～84 ページ）
- 停電から復帰したら、必ず連系運転に戻してください。ただし、自立運転の自動切り替えを設定している場合は、切り替え操作不要です（☞ 52 ページ）。



1 右側面の 運転切替ボタンを押す

運転 / 停止、連系 / 自立設定画面が表示されます。

※ 運転切替ボタンがロックされている場合は、ロックを解除してから操作してください（☞ 15 ページ）。

※ 運転モードの自動切り替えをおこなっている間は、設定画面を表示できません（☞ 52 ページ）。切り替えが終了するまでしばらくお待ちください。



2 自立 をタップする

自立運転モードに切り替わります。

3 運転 をタップする

自立運転を開始します。

運転の開始には、ボタンをタップしてから数秒～数十秒かかります。

■ 連系運転に戻す

以下の操作で連系運転に戻すことができます。

1 右側面の 運転切替ボタンを押す

2 連系 をタップする

3 運転 をタップする



- 太陽電池パワーコンディショナをお使いのとき、自立運転に切り替わるまで2分程度かかる場合があります。
- お使いのシステムの接続機器によっては太陽電池パワーコンディショナの「自立」が非表示になる場合があります。
- 蓄電池を接続したパワーコンディショナを2台設置している場合、蓄電池を接続したパワーコンディショナの一方を自立運転に切り替えると、他の1台も自立運転に切り替わります。連系運転の切り替えも同様です。
- 自立運転時の発電量の表示値は、消費量と蓄電池の充電量に応じた数値となります。